

# 激変する世界経済と日本経済の行方

早稲田大学教授  
若田部 昌澄

わかたべ  
まさずみ

- \* 中国の現状をどう見るか
- \* 引き締め政策がデフレを誘発
- \* 李克強指数では2%程度の成長率
- \* 最大の課題は政治体制の変革
- \* 中国経済の変調は世界にどう波及するか
- \* 移民大量流入でドイツ経済はどうなるか
- \* 利上げ問題が焦点のアメリカ
- \* 日本経済には消費増税の悪影響が鮮明
- \* 「新3本の矢」をどう評価するか
- \* 停滞脱脚に必要な政策イノベーション



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、このところ毎年来ていただいておりますが、若田部先生をお招きしました。アベノミクスの第2ステージに入りまして、新3本の矢が出ましたけれども、この評価をどう考えたらいいのか。それから、政策の中身がいまひとつはつきりしないわけですけれども、そこら辺も含めて、これから金融政策、財政政策、これがマーケットに与える影響は皆さんたいへんご興味があると思います。今日の日銀の政策決定会合は現状維持ということのようでございますが、今後の見通しを含めてじっくり若田部先生にお話をいただきたいと思えます。

ではよろしくお願いたします。（拍手）

若田部 若田部でございます。よろしくお願

いたします。

経済倶楽部ももう7回目だが、8回目になりまして、私にとつてはふるさとに帰ってくるような気分でございます。

今日は「80分間世界一周再び」ということで、すけれども、以前そのような話をさせていただきましたので、今日は世界経済の動向と日本経済という二つをお話しさせていただきたいと思えます。最後のほうで10分間ぐらい時間をとって皆さんとの意見交換ということもしたいと考えております。

2部構成になっていまして、最初のところが世界経済のお話で、これはざっとおさらいするというような形になると思えます。2部では、日本経済にかかわる話をしたいと思えます。